取扱説明書

BMW用3連メーター

52X-BM

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は良くお読みいただき大切に保管してください。

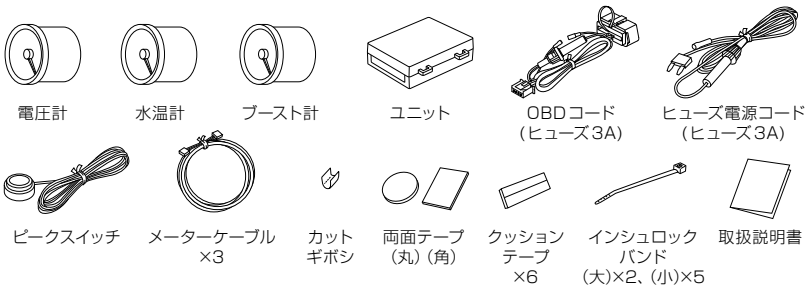
●製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

製品 ＋

目次

セット内容・警告・注意 ……1
特長 ……1
各表示と用途・各部の名称 ……1
配線接続方法と固定方法 …… 2~3
基本操作方法 ……4
表示の切り換え ……4
故障かな？と思ったら ……4

内容物をご確認ください



●その他必要部品　3Dデザイン社製3連メーターパネル（フルキットには同梱）

⚠
1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクターを利用する製品との併用はできません。
3. 故障診断コネクターを利用するPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ *http://pivotjp.com/obd/*
4. 取付場所の都合上、純正灰皿とシガライターが使用できなくなりますのでご了承ください。

⚠警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **●換気の悪い場所で作業しない**
  排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- **●コードの被ふくを傷付けない**
  ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輌破損の危険があります。
- **●運転中に操作をしない**
  運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- **●製品固定や配線処理は確実に行う**
  製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- **●DC12V車で使用する**
  本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- **●装着直後は製品に強い力を加えない**
  両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- **●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない** 故障の原因となります。
- **●薬品類は使用しない**
  ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- **●ネジ・部品は元の状態に戻す**
- **●まぶしく感じる場所には装着しない**
- **●加工・分解および改造をしない**

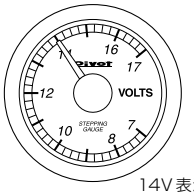
特長

3連式 電圧・水温・ブーストの3種類を3連にて同時表示。
ピークスイッチ ブースト計と水温計は最高値を、電圧計は最低値を表示可能。
LEDイルミ 純正と同色のオレンジ照明。（メーター作動中は常時点灯）
配管不要・簡単装着 故障診断コネクターに簡単装着なので配管作業が不要。
ステッピングモーター 高精度で応答性が速いステッピングモーター。

各表示と用途

電圧計

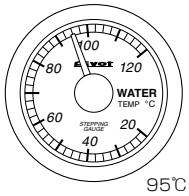
▶ **表示** 7V~17V
▶ **用途** バッテリーチェック



14V表示例

水温計

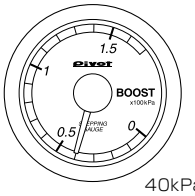
▶ **表示** 20℃~120℃
▶ **用途** オーバーヒート
暖機チェック　など



95℃表示例

ブースト計（絶対圧表示）

▶ **表示** 0~154kPa
▶ **用途** ブーストチェック
など

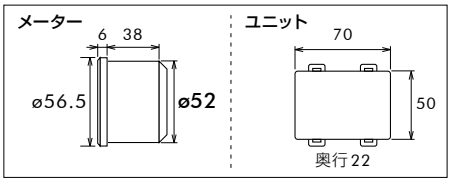


40kPa表示例

オープニングデモ

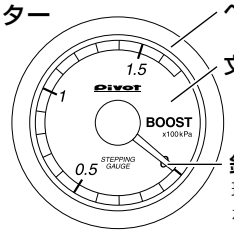
オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、各表示項目に移行します。

サイズ ［単位：mm］

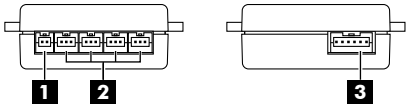


各部の名称

●メーター



●ユニット



1 ピークスイッチ用コネクター
ピークスイッチを接続

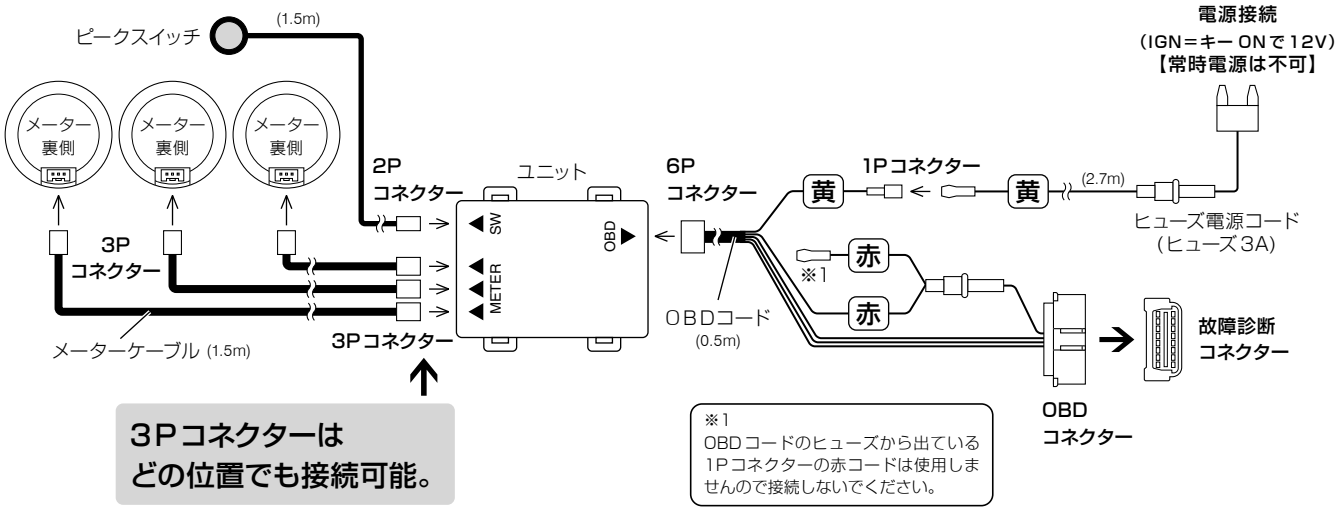
2 メーター用コネクター
メーターケーブルを接続

3 電源用コネクター
OBDコードを接続

配線接続方法と固定方法

基本配線図

各配線はキーをOFFにしてから作業を行ってください。

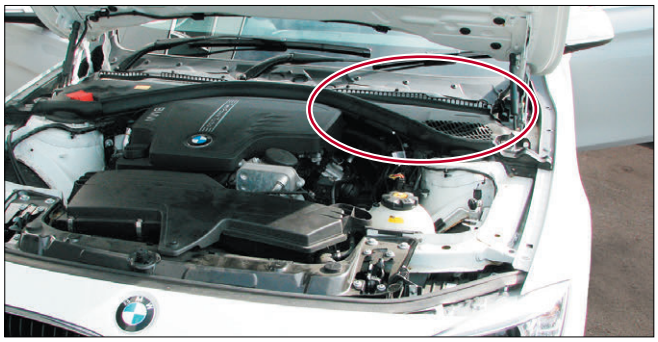


1 電源の接続を行う（説明は全て右ハンドル車の場合です。）

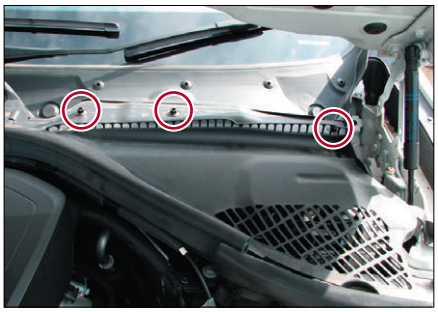
1、3シリーズの場合

① 助手席グローブボックス下のアンダーカバーを外す。

② ボンネットを開け、ヒューズボックスの位置を確認する。

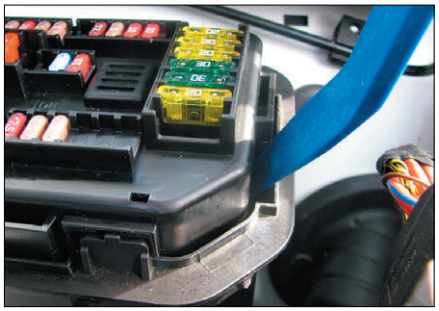


③ ヒューズボックス上のカバーを外す。

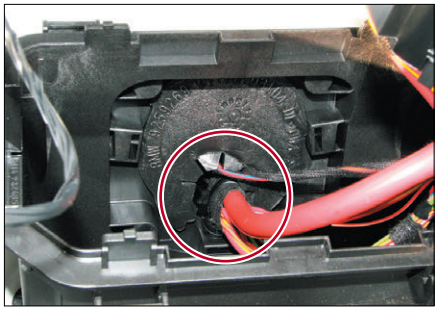


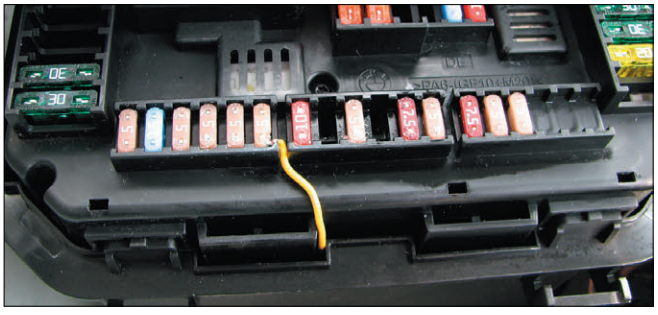
④ ヒューズボックスカバーを外す。

⑤ ドライバーなどでヒューズケースをこじって上げる。



⑥ ヒューズケース奥の穴からヒューズ電源コードを通し、室内に引きこみ1Pコネクターを接続する。





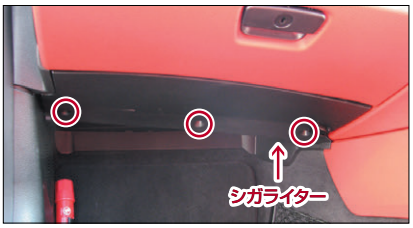
⑦ 左から6番目の位置の純正ヒューズ5Aと、ヒューズ電源コードのヒューズを入れ替える。

⑧ ヒューズ電源コードを図のように引き回す。

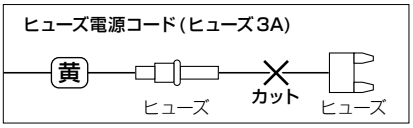
⑨ 逆の手順で戻す。

Z4の場合

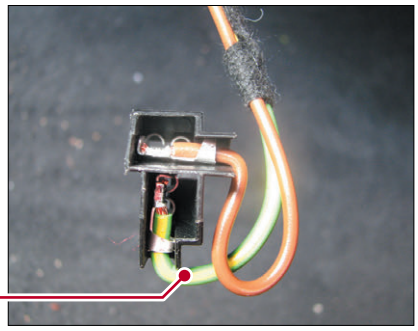
① 助手席グローブボックス下のアンダーカバーを外す。
（ネジ3ヶ所）



② ヒューズ電源コードのヒューズを図のようにカットする。



③ シガライターソケット裏の2Pコネクターのコード（図の位置）にヒューズ電源コードの先端をカットギボシで接続する。



④ アンダーカバーを元に戻す。

【参考1】カットギボシの使い方

1	2	3	4	5	
10mm 接続するコードの被ふくをむく。	10mm 製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。	※かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

2 各コードとユニットの接続

① メーターケーブルをメーター取付位置からユニット位置まで引きまわす。

② ヒューズ電源コードの1Pコネクターと OBD コードの1Pコネクターを接続する。

③ ピークスイッチ、メーターケーブル、OBDコードをユニットと接続する。

④ OBD コネクターを故障診断コネクターと接続する。
（故障診断コネクターのふたが邪魔になる場合はふたを取って下さい。）

【参考2】OBDコネクター取扱時の注意点

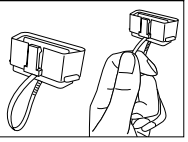
差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

⚠注意
コネクター抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクターが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。



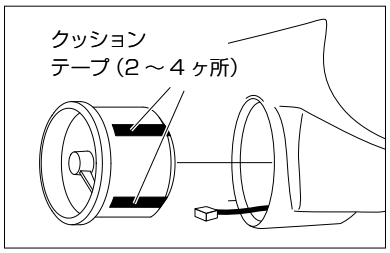
3 製品の固定

メーターの固定

メーターパネルの取付要領はメーターパネルの取扱説明書（株式会社スリーディーデザイン社製）を参照してください。

① メーターに付属のクッションテープを貼る。

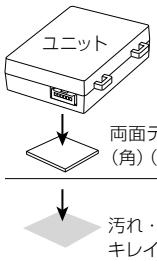
② メーターとメーターケーブルを接続し、圧入の要領で固定する。



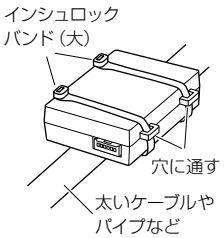
ユニットの固定

水のかからない場所へユニットを固定。

平面に固定する



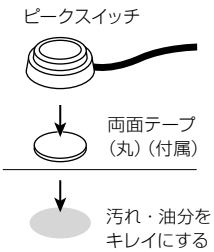
ケーブルやパイプなどに固定する



ピークスイッチの固定

スイッチ部を操作しやすい場所へ固定する。

平面に固定する



配置

弊社では図を基本配置としていますが、お好みに応じた配置も可能です。
※3Pコネクターはどのメーターとも接続可能です。

電圧計　水温計　ブースト計

設置方向

お好みや見やすい向きに調整可能です。

基本操作方法

1

キースイッチON
（エンジン始動）

2
オープニングデモ
（3連同時始動）

3
通常表示

4

キースイッチOFF
（エンジン停止）

5
メーター OFF

表示の切り換え

ピーク値表示

1
スイッチを
1回押す
メーター作動中にスイッチを1回押します。

2

3連同時に表示されます。

3
スイッチをはなしてから3秒後に通常表示に戻ります。

ピーク値リセット

1
スイッチを
3秒長押し
ピーク値表示中にスイッチを押しピーク値をリセットします。

2
3連同時にリセットされます。

3

品名	ピーク値
電圧計	最低側
水温計	最高側
ブースト計	最高側

※各ピーク値はキー OFFでリセットされます。

電圧計による最低電圧測定

1

ブレーキ踏まず
2回押す
(1,3シリーズ)

または

ブレーキ踏まず
キーを挿し、1回押す
(Z4)

キースイッチをONにして
メーターを通常表示にする

2

ブレーキを踏み
1回押す

エンジンを始動し
ピーク値表示にて最低電圧を
確認してください

●バッテリーの電圧が新品時より約1V以上低い場合は、交換や充電をお勧めします。

故障かな?と思ったら

症　状	原　因	対　策
メーターが作動しない。(3連すべて)	OBDコネクター、ヒューズ電源コードの接続不良。	OBDコネクター、ヒューズ電源コードの接続状態を確認する。
	電源を直接配線した場合の黄コードの配線間違いか接触不良。	黄コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車表をご確認ください。
メーターが作動しない。(1つまたは2つ)	メーターケーブルの接続不良。	メーターケーブルの接触状態をご確認ください。
ブースト計の針が他のメーター（相対圧）から多少マイナスにズレる。	**車輌側センサー（絶対圧）の特性で標高等に応じ1目盛程度ズレますが故障ではありません。**	

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/